

我孫子市環境レンジャー通信
No79
(令和3年1月発行)

たまっけ

(発行)
我孫子市環境レンジャー
(連絡先)
我孫子市手賀沼課
04-7185-1484(直通)

「たまっけ」とは昭和35（1960）年頃まで手賀沼でもたくさん棲^すんでいたカラスガイのことです。今はほとんど見られません。環境レンジャーは、我孫子の自然環境を市民に伝え、市民といっしょに考え、守り育ててゆくために結成されました。みなさん、いっしょに美しい我孫子を守り育てましょう。

《 特集 》

環境レンジャー谷津観察会記 ～谷津の昆虫 集団越冬の状況～
(谷津を愛する会 会長 田島 友昭)

寒い冬をみんなで乗り切ろう！

2020年11月21日(土)環境レンジャーの秋の谷津観察会に出させていただきます。コロナ予防のマスク着用での観察会で無理せずゆっくりのスタートです。お天気も良く、歩き始めて陽を一杯に浴びた常緑樹(シロダモ、アカガシ)の小さな木の葉上に紫色に輝き翅を一杯に広げたチョウ、小さなムラサキシジミ(成虫越冬)を、みなさんに見ていただき、「きれい」と声が上がりました。近くには同じ紫色で後翅に1対の後尾突起があるムラサキツバメ(成虫越冬)が翅を閉じていました。頭の上を違うチョウが飛び去り近くの葉表にとまると、翅を広げてくれ、白っぽいブルーの斑点があり、ウラギンシジミ(成虫越冬)のメスでした。オスの個体は翅に橙色の斑点があり、翅を閉じると白銀色でここからウラギンと名前になったとも云われています。当日は両種とも発見できました。他のチョウでは落葉のような色をしたクロコマチョウ(成虫越冬)、翅全体が黄色のキタキチョウ(成虫越冬)もササの中から飛びました。一年中普通にみられる小さなヤマトシジミ、赤茶色のキタテハ(成虫越冬)も観察できました。

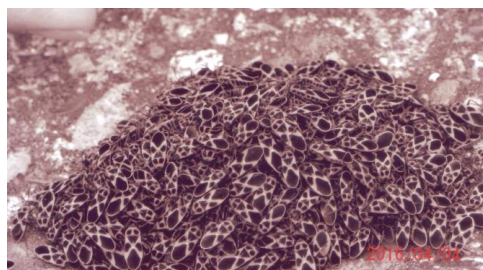


ウラギンシジミ
ヤブツバキかアオイ・カシ類の葉表で越冬、風雨に負けず春までじっとしています。
(谷津の生きもの通信 2014年3月号に記載)

トンボではアカトンボのアキアカネ、イトトンボの背中から尾まで金緑色のオオアオイトトンボ(晩秋の陽のなかで細い木の枝とかササの群生でみられ、縄張り占有をしている)がみられ、小さいお子さんからシオカラトンボをみつけた報告もありました。他にはイナゴ、ツチイナゴが大変な多くの数で跳びはね、小さい子が追っかけていました。ナナホシテントウ、ジョロウグモと円網、オオカマキリの卵はこのまま冬を越すササについています。ミノムシもみつかりました。



小バエの仲間



ヒメジウジナガカメムシ
(百匹以上)



ヨコツナサシガメ
ヤナギ大木幹での集団越冬

あびこの谷津には、自然がたくさん残されているんだね！

女性参加者から遠くの赤い実を見つけ、あの木は？との質問に、葉の裏側が白く、枝の所々に黄色っぽい花を咲かせていたシロダモでした。赤い実と黄色っぽい花が今の時期にみられ、この近くではお正月の寄せ植などに用いられます。

マンリョウ（万両）が一杯赤い実をつけていました。すぐ近くでは十両と云う小さな小さな木で赤い実をつけたヤブコウジも同時にみつけました。

越冬するチョウが多くみられました。初めのムラサキツバメは常緑樹葉表で越冬、私は参加者の皆さんが歩いた近くで2016年12月ムラサキツバメの28匹（右の写真）もの集団越冬を発見。東葛地区で新発見とされ「房総の昆虫61号2017年」に発表しました。



ムラサキツバメの
集団越冬

みなさんも冬の昆虫が少なく動かない時期でも、暖かい陽のなかを散歩して下さい、みつかると思います。大変楽しい観察会ができ、みなさま大変ありがとうございました。



4ページに、環境レンジャーのレポートもあるよ！

[写真は全て谷津内で撮影。撮影者：田島 友昭]

環境レンジャー活動報告

市民のチカラまつり

（環境レンジャー 谷内 トヨコ）

『新たな一步に寄り添って ～市民のチカラまつりの日は大切な人と繋がろう～ 』

今年は繋がり方を工夫しました!(^^)!

市民のチカラまつり2020

我孫子市環境レンジャー ～エコに親しみ守る活動～

自然観察
手賀沼水辺掃除
手賀沼エコこども教室
紙粘土工
営業活動
市民のチカラまつりに参加

我孫子の豊かな自然・環境を市民に伝え、一緒に考え、守り育てる活動を行っています。自然観察や環境学習を中心とした活動になり、市広報で参加募集を行っています。季刊誌「たまっけ」でも詳しく案内しています。

With コロナ時代の市民活動について

エコが豊かな我孫子を守るために ～ リスクと長く付き合い両立させるために、行事や運営の仕方を選択し変容させ、リスクを回避する様式(定員、間隔、マスク、検温、手指消毒など)も工夫しながら習慣化させ、誰でも安心して参加ができ継続させられる活動を計画します。

本年度の市民のチカラまつりは「新たな一步に寄り添って～市民のチカラまつりの日は大切な人と繋がろう～」をテーマに掲げ企画されましたが、本年度は皆様ご存知の通りコロナ感染防止の観点からオンライン企画及び ZOOM 講座に変更、例年よりのイベントは中止となりました。

環境レンジャーも他の団体同様、活動のポスター展示のみとなりました。アピスタストリートに9/14～9/27、けやきプラザ第一ギャラリーに9/24～9/27まで展示致しました。以下、けやきプラザの展示の様子を写真にて報告します。



ストリート展示の様子

環境レンジャー活動報告

あびこ子どもまつり

（環境レンジャー 荻野 茂）

2020年10月18日（日）に実施予定されていた「あびこ子どもまつり、エコ子ども教室」はコロナ禍のもとで事業縮小となりました。エコ子ども教室は、夏休みの縮小のため科学研究が充分行えないことで中止。一方、あびこ子どもまつりは例年のようなイベントは中止し、アピスタストリートでの各団体の活動紹介というパネル展示に切り替えられました。環境レンジャーとして市民のチカラまつりで作成したパネル1枚と消費者展で作成したパネル4枚を展示しました。10月3日（土）の午前中から10月18日（日）までの2週間展示しました。



環境レンジャー活動報告

手賀沼水辺探検

（環境レンジャー 櫻井 潤）

主催：手賀沼流域フォーラム実行委員会

企画・推進：手賀沼水生生物研究会、我孫子市環境レンジャー

2020年10月4日（日）この日は季節外れ・・・と思われる晴天の暑い日でしたが、13家族33名もの多くの参加を得て開催することができました。今年は新型コロナウイルス感染流行から開催が危ぶまれましたが、予防対策をしっかりと行えば可能と判断しての実施です。対策の一端は、募集定員を例年の半分（30名）に抑えて3班に分け、3基のテント設営、テーブル・水槽・飼育ケース・田舟などを班毎に配置、そしてお世話係（講師、スタッフ）も2倍に増員して、細かな消耗器材も例年より多く準備しました。受付の時もマスク着用、手消毒、検温、体調の確認を行うなど物々しい用心になりました。

漁師さんから手賀沼に昔から生息する魚の種類や変化とか、どのように漁（漁具、漁法）をしていたのか説明を受け、今は放射能の影響で漁が出来ない悲しい話もありました。この後に家族毎に餌を中に入れた「もんどり（かご網）」の仕掛けを、班毎に場所を変えて行いました。

回収するまでの待ち時間（約30分）は、漁師さんが前夜から仕掛け今引き上げてきた獲物の見学、密を避けこれも班毎の観察になりました。モツゴ、タモロコ、フナ、ニゴイ、スジエビ、テナガエビなど種類の多さに大喜びです。でも嫌われ者の特定外来生物チャネルキャットフィッシュとか、緊急対策外来種のアカミガメ、アメリカザリガニも多く混じっていて、この取り扱いの注意を聞いて更にびっくりです。



もんどり（かご網）を投入！



手賀沼で沢山の生命がはぐくまれているんだね

いよいよ引き上げの時、なにが獲れたかな！

いよいよもんどり（かご網）の引き上げ時、恐る恐る網を引き寄せもんどり（かご網）の中をのぞくと小魚がいっぱい、子供達は好奇の目で大はしゃぎです。その獲物を今度は水槽に種類毎に仕分けて入れ、講師から名前や由来の説明を聞く番です。

魚博士？の子供もいて賑やかに会話は弾みます。終了時には獲物の持ち帰り希望者に、飼育の注意を行い、準備した容器に魚を入れ帰宅です。



みんなお魚博士！？



通りがかりの家族連れ何組かは、何事？・・・かと興味津々、飛び入り参加したそうな仕草、でもパンフレットを手渡し来年の予定を説明し断念してもらった一コマもありました。

来年もグレードアップして待ってるよ(^^)/

今回はコロナ感染予防から人手や時間、費用を掛け手探りの準備で開催、運営に一寸した手違いもありましたが、概ね予定した予防とスケジュールで進行させることが出来ました。来年もこの経験を更にグレードアップさせた段取りを行い、この手賀沼水辺探検の行事を開催して、皆に手賀沼の環境や生態系など自然を守る大切さをお伝えできればと願っています。

環境レンジャー活動報告（ネイチャーイン）

秋の谷津の自然散策

（環境レンジャー 淡嶋 省司）

2020年11月21日（土）に秋の谷津の自然散策が行われました。講師には、谷津を愛する会会長の田島友昭先生にお願いしました。天気は晴れ、風は少々ありましたが暖かく散策日和になりました。参加者は大人11名、子供4名に環境レンジャー8名の参加でした。

出発に先立ち自然散策の注意事項、コロナ感染予防の注意事項を皆で確認しました。集合場所の東我孫子駅を出発し講師の待つ合流地点まで移動しました、移動中、谷津ミュージアム掲示板前で谷津の全体説明をしました。

元気よく、秋の谷津に行ってみよう！

合流地点で田島先生及び事務局長の鈴木さんと合流したのち観察が始まりました。

谷津で問題のアカボシゴマダラチョウは、エノキの葉を餌とする繁殖力が強い特定外来種で、谷津の貴重な蝶を排除してしまいます。持ち帰っての飼育は厳禁で違反すると罰金もあるとの話がありました、私達も注意が必要です。

また、合流地点に沢山落ちているどんぐりのマテバシイとコナラ、クヌギ、シラカシ等の区別は殻斗の形や模様で区別できるとの話がありました。



どんぐりにも
いろいろな種類があるんだね(~/)



昔のお金 = 十両に万両？ 赤いご飯 = アカマンマ？！

その他散策中観察したものは樹木ではユリノキ（ハンテンボク）の花、ネムノキの花、コブシの花、タケとササの区別、ムラサキシキブの実、イボタノキの実、シロダモの実、ヤブコウジの実（十両）、クワノキのキクラゲ、サルトリイバラのつる、マユミの実、ガマズミの実など。野草ではイヌダテ（アカマンマ）、ジンジャー、冬季のヒガンバナ、ヘクソカズラの実、カラスウリの実など、昆虫、その他ではムラサキシジミ、ムラサキツバメ、アキアカネ、オオカマキリ、オンブバッタ、ウシガエル、メダカなど。

ムラサキシジミ、ムラサキツバメの違いがわかるかな？



ムラサキシジミ
翅の表が青紫色に輝く



ムラサキツバメ
後翅に1対の後尾突起が特徴

以上の項目について、実物や写真を交えて特徴やいろいろな関連事項を含めて先生から説明をして頂きました。他に夏場にホテルが観察できる場所の紹介や我孫子で唯一の天然記念物ヒカリモ（光藻）の場所も紹介をして頂きました。

今回の散策は天候に恵まれ、約1時間半、先生からは沢山の項目について説明をして頂きました。参加者からの質問にも答えて頂き本当にありがとうございました、とても有意義な楽しい時間となりました。

環境レンジャーのこれからの予定

詳しくは「広報あびこ」を見てね！

お申し込み、お問い合わせは、我孫子市手賀沼課（04-7185-1484（直通））まで



お知らせ

※新型コロナウイルスの影響により
変更または中止となる場合があります。

新型コロナウイルス 感染症感染対策



マスク



手洗い



人との間隔

令和3年1月24日(日)

ネイチャーイン 手賀沼船上冬鳥観察会



ミサゴも見られるかも(笑)



時間：午前9時30分～11時

場所：手賀沼公園内ボートセンター小池前集合

たくさん水鳥が集まる手賀沼の冬は野鳥観察のベストシーズンです。船上からの探鳥では陸からの探鳥と全く違った景色が満喫できます。猛禽類のミサゴやかわいいカワセミの姿も見られるかもしれません。我孫子野鳥を守る会との共催です。

令和3年2月20日(土)

環境学習 紙飛行機工作と飛行大会



時間：午後1時30分～3時30分

場所：アビスタホール

大人気！の紙飛行機工作と飛行大会。
みんなで「スーと飛ぶ飛行機」「ふわふわ飛行機」
「曲技飛行機」など作って、仕上げは一緒に飛ばして遊ぼうね。ビックリするほど飛ぶよ！

※傷害保険代50円/人が必要です。

(おまけ)

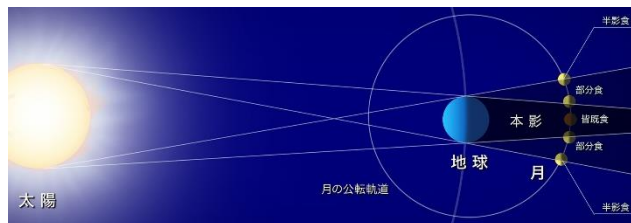
2021年 夜空のイベント 🌟

2021年は注目の天文現象が多い楽しみな年になりそうです。

○5月26日 皆既月食
月が欠けた状態で昇ってくる「月出帯食」

☆8月12日ごろ ペルセウス座流星群
月明かりが少なく観測しやすい！

🌑11月19日 部分月食
月のほとんどが地球の影に入ります。



《編集後記》

まだまだ、寒い日が続きます！
あびこ谷津の生き物たちも暖かい春にむけて一生懸命準備しているのですね。
令和3年、環境レンジャーは、今年もたくさんの自然をお伝えしていきます。
『たまっけ』へのご意見、ご感想お待ちしております。

(環境レンジャー 継岡 伸彦)